令和８年度(第 53 回)

岡山市文化奨励賞



文化奨励賞賞牌　大桐國光作

本年度で第 53 回を迎える岡山市文化奨励賞は、岡山市において学術・芸術の分野で中堅的存在として活躍している市民を表彰し、今後　一層の研鑽を奨励するため、昭和 49 年に制定しました。

今回も、市内の関係方面に候補者のご推薦をいただきました。その後、選考委員会の選考、岡山市長の決裁を経て、 受賞者を決定しました。

受賞者には、本賞(賞状及び賞牌)並びに副賞(賞金)を贈ります。賞牌は大桐國光氏が制作したブロンズ浮彫です。

なお、この賞の受賞者は、今年度で学術部門は７団体・46名、芸術部門は４団体・47名となりました。

岡　山　市

令和8年度（第53回）岡山市文化奨励賞

学 術 部 門



西山（にしやま）　康一（こういち）（日本近代文学）

年　　齢：57 歳
住　　所：岡山市北区

■表彰理由

西山氏は、岡山大学学術研究院社会文化学学域准教授として、日本近代文学の研究と学生の教育指導に取り組んでいる。

岡山県内においては、倉敷市出身の詩人薄田泣菫（すすきだ きゅうきん）の文庫調査研究プロジェクトチームの一員として旧蔵資料の調査研究に当たった。作品の読解的研究と原稿等の資料研究を接続・統合させた研究手法は、岡山や地域に眠る原稿等の現物資料が発掘される可能性を秘めており、文学研究における将来性が期待されている。

岡山市のユネスコ創造都市ネットワーク・文学分野の加盟に当たっては、専門家や市民で構成する推進力となる「文学創造都市おかやま推進会議」の委員として、おかやま文学フェスティバルをはじめとした市民による活動を後押ししている。

文学の振興のための講演活動をはじめ、留学生や高校生の活動や発表の機会を設けるなど、後進の指導と人材育成にも取り組んでおり、今後とも地域社会への貢献が期待される。

＜略歴＞

平成 5 年 3 月	慶応義塾大学文学部文学科国文学専攻卒業
平成 5 年 4 月	慶応義塾大学大学院文学研究科国文学専攻前期博士課程（修士課程）入学
平成 8 年 3 月	慶応義塾大学大学院文学研究科国文学専攻前期博士課程（修士課程）修了
平成 8 年 4 月～9 年 3 月	慶応義塾大学大学院文学研究科国文学専攻研究生
平成 9 年 4 月	慶応義塾大学大学院文学研究科国文学専攻後期博士課程入学
平成 15 年 3 月	慶応義塾大学大学院文学研究科国文学専攻後期博士課程単位取得退学
平成 9 年 4 月～13 年 3 月	青山学院高等部国語科非常勤講師
平成 17 年 4 月～18 年 9 月	中央学院大学商学部非常勤講師
平成 18 年 10 月	岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授に就任 （後に岡山大学学術研究院社会文化学学域准教授に名称変更）
平成 31 年 3 月	倉敷市・薄田泣菫文庫調査研究プロジェクトチーム編 『薄田泣菫読本』（翰林書房）出版（共著）
令和 8 年 2 月	著書『芥川龍之介の〈他者〉表象　－〈歴史〉・〈異性と異国〉・ 〈狂気〉－』（翰林書房）出版
令和 8 年 4 月	論文博士として博士学位取得

令和8年度（第53回）岡山市文化奨励賞

芸 術 部 門

角（すみ）　ひろみ（舞台芸術）



年　　齢：52 歳
住　　所：岡山市北区

■表彰理由

角氏は、劇作家、演出家、俳優として多方面にわたる舞台芸術の分野で優れた才能を発揮し、活動を展開している。独自のリズムと詩的な対話で、日常と生の不条理を巧みに描き出し、現代人の悲喜劇を紡ぎ出している。

岡山市が主催している「おかやまアーツフェスティバル」をはじめ、岡山での地域イベントでは、岡山芸術創造劇場「ハレノワ」を舞台として、演出やワークショップの講師を積極的に務めるとともに、高校生を対象にした演劇講座を通して後進の指導にも力を注ぎ、地域文化の発展に貢献している。

方言を生かした作品では、地方の文化的多様性の重要さを広く伝えるなど、革新性と多方面での才能は、新たな視点や創造的な物語を生み出す可能性を秘めており、地域社会と演劇界、さらには他の芸術分野との架け橋となる存在として今後も活躍が期待される。

＜略歴＞

平成 5 年 3 月	兵庫県立宝塚北高等学校演劇科卒業
平成 7 年	関西地区にて芝居屋坂道ストアを旗揚げ、平成 13 年まで活動
平成 11 年	劇作家協会新人戯曲賞佳作・北海道知事賞受賞
平成 20 年	岡山市に転居
平成 20 年	近松門左衛門賞受賞
平成 26 年	劇作家協会新人戯曲賞受賞
平成 27 年	岡山芸術文化賞準グランプリ受賞
令和 2 年～	兵庫県立宝塚北高等学校演劇科戯曲講師
令和 7 年	福武教育文化賞受賞
令和 8 年	岡山芸術文化賞準グランプリ受賞

岡山市文化奨励賞受賞者一覧

回	学術部門	芸術部門
第1回	岡山民俗学会	坂本　明子(現代詩)
第2回	長光　徳和(歴史学)	大月　宗明(邦楽)
第3回	間壁　忠彦(考古学)	横田　建三(洋画)
第4回	鶴藤　鹿忠(民俗学)	片山　康雄(洋楽)
第5回	岡山民話の会	深田　恒弘(陶芸)
第6回	岡山県立興陽高等学校 農業研究部	三沢　浩二(現代詩)
第7回	加原　耕作(歴史学)	金谷　哲郎(彫刻)
第8回	西川　宏(考古学)	星島　明郎(洋楽)
第9回	太田　健　一(歴史学)	成本　和子(童話)
第10回	(受賞者なし)	小野　道子(書道) 棚田　国雄(洋楽)
第11回	斎藤　伸英(地理学)	岡田　弘(写真)
第12回	朝森　要(歴史学)	菱川　欣三郎(洋楽)
第13回	南　智(地理学)	末森　智子(工芸)
第14回	後神　俊文(近代史)	香川　昌久(洋画)
第15回	高橋　護(考古学)	平田　稔(商業美術)
第16回	臼井　英治(文化史)	小野　敬子(洋舞)
第17回	沖　陽子(植物学)	森　尚(彫刻)
第18回	森元　辰昭(近代史)	歳森　拓也(書道)
第19回	間壁　葭子(考古学)	森下　勲(彫刻)
第20回	井上　啓治(国文学) 高橋　和成(生物学)	(受賞者なし)
第21回	岡　鐵雄(植物学)	岡山シンフォニック バンド
第22回	草地　功(鉱物学)	藤沢　陽　一(演劇)
第23回	高橋　香代(スポーツ医学)	松島　巌(ガラス工芸)
第24回	香田　康年(生物学)	小林　照尚(彫刻)
第25回	山本　力(心理学)	内田　智也(版画)
第26回	定兼　学(歴史学)	安藤　清和(現代美術)
第27回	岸田　芳朗(農学)	浦田　隆司(声楽)

回	学術部門	芸術部門
第28回	小倉　俊郎(医学)	浮田　隆司(美術振興)
第29回	柴田　奈美(国文学)	山崎　繁男(パントマイム)
第30回	岡山地方史研究会	上月　惠(洋楽)
第31回	松木　武彦(考古学)	佐藤　淑子(舞踊)
第32回	塩田　澄子(微生物学)	嘉数　彰彦(映像芸術)
第33回	近森　秀高(流域水文学)	有松　啓介(ガラス工芸)
第34回	戸上　泉(医学)	よしもと　正人(彫刻)
第35回	三村　由香里(スポーツ医学)	南川　茂樹(木工・デザイン)
第36回	宇垣　匡雅(考古学)	斎藤　恵子(現代詩)
第37回	木下　浩(民俗学)	(受賞者なし)
第38回	青木　康嘉(近代史)	宮崎　郁子(人形芸術)
第39回	和田　淳(医学)	岡山市民合唱団鷲羽
第40回	山川　隆之(出版)	青地　大輔(写真)
第41回	一般財団法人 林原美術館 (博物館)	特定非営利活動法人 アートファーム(舞台芸術)
第42回	内池　英樹(歴史学)	小川　孝雄(映画)
第43回	喜多村　真治(医学)	池田　靖嗣(パブリックアートの再生)
第44回	岡山大学附属図書館	石田　彩(ガラス工芸)
第45回	岡山県立記録資料館 古文書解読同好会	出口　裕子(声楽)
第46回	万城　昭(歴史学)	岡山大学大学院教育学研究科 国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座
第47回	森山　圭(薬学)	近藤　浩子(洋楽)
第48回	齋藤　美絵子(デザイン学) 中司　敦子(医学)	(受賞者なし)
第49回	福田　宏(貝類学)	柾木　和敬(声楽)
第50回	(受賞者なし)	松村　晃康(彫刻)
第51回	久野　洋(歴史学)	安井　祥二(映画)
第52回	氏原　岳人(都市計画学)	天川　栄人(文学)
第53回	西山　康一(日本近代文学)	角　ひろみ(舞台芸術)